



# 九州工業大学とラックが AIを活用したサイバー防御における共同研究を開始

-サイバーセキュリティ分野における次世代データ分析研究を推進-

## 九州工業大学

大学院情報工学研究院 知能情報工学研究系・准教授

## 株式会社 ラック

SSS事業統括部 セキュリティ事業推進部 テクノセンター北九州

中村 貞吾

井原 康博

2019年9月30日

# 共同研究の概要

社会のデジタル化が浸透し活用範囲が広がる一方で、犯罪者がこれを悪用し、最新テクノロジーを駆使しながら様々な手法を日々生み出しています。

サイバー攻撃に対して、現状では被害が発生した後の対応で被害を最小化する対策が主流となっており、**未然の防御技術の開発**が望まれています。

サイバー攻撃による被害を受ける前に攻撃を防御するAI活用技術（次世代データ分析手法）の確立を目指し、2019年9月1日より共同研究を行うことに合意しました。

## 九州工業大学

中村貞吾准教授  
自然言語処理、思考ゲームAIなどの  
知的情報処理の研究



## 株式会社ラック

JSOC : Japan Security Operation Center  
20年以上のセキュリティサービスに関わる  
知見と膨大なデータ

# サイバー攻撃の脅威

情報目的

標的型サイバー攻撃

金銭目的

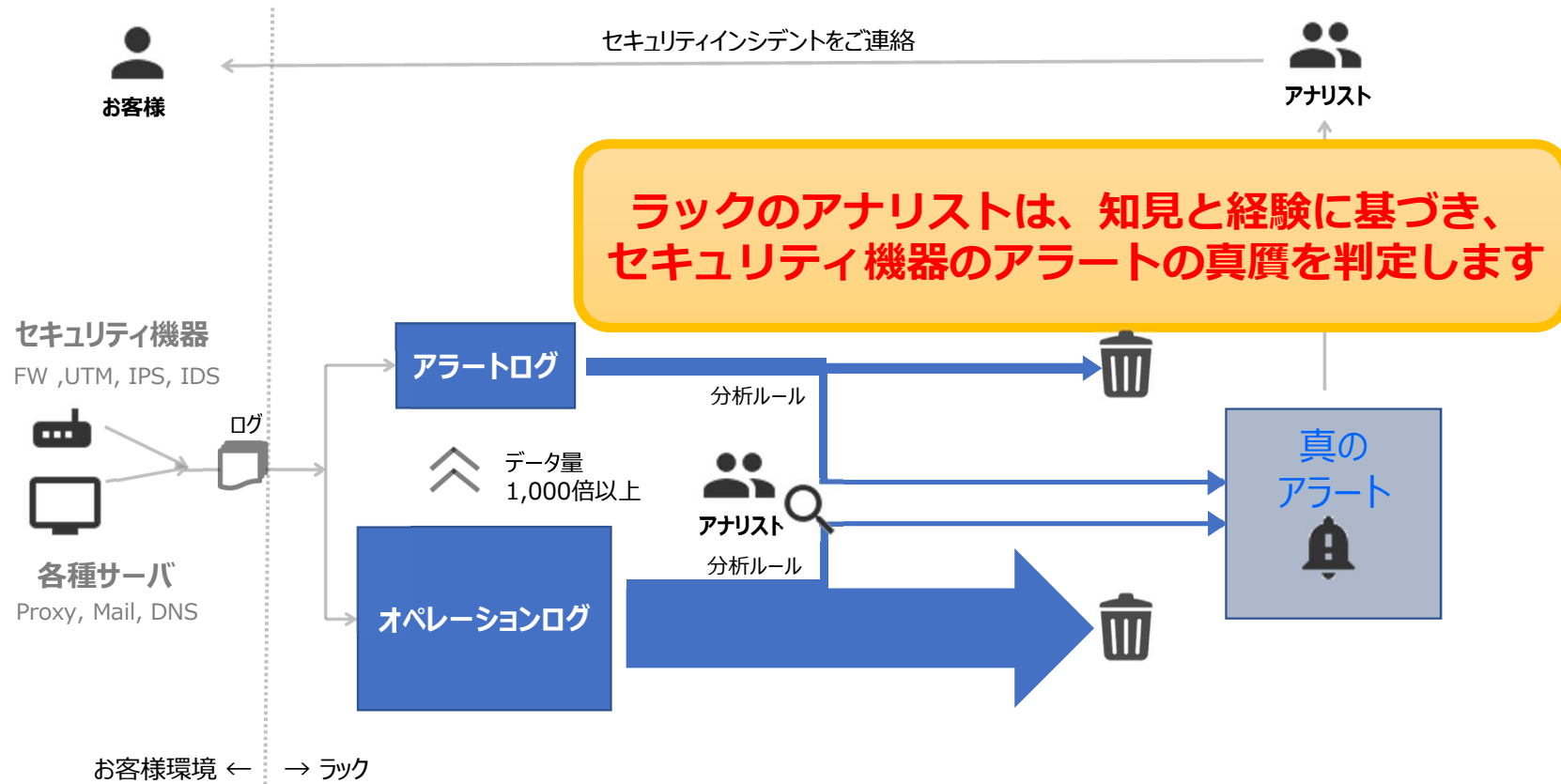
身代金要求型ウイルス      コイン・ポイント窃取

端末目的

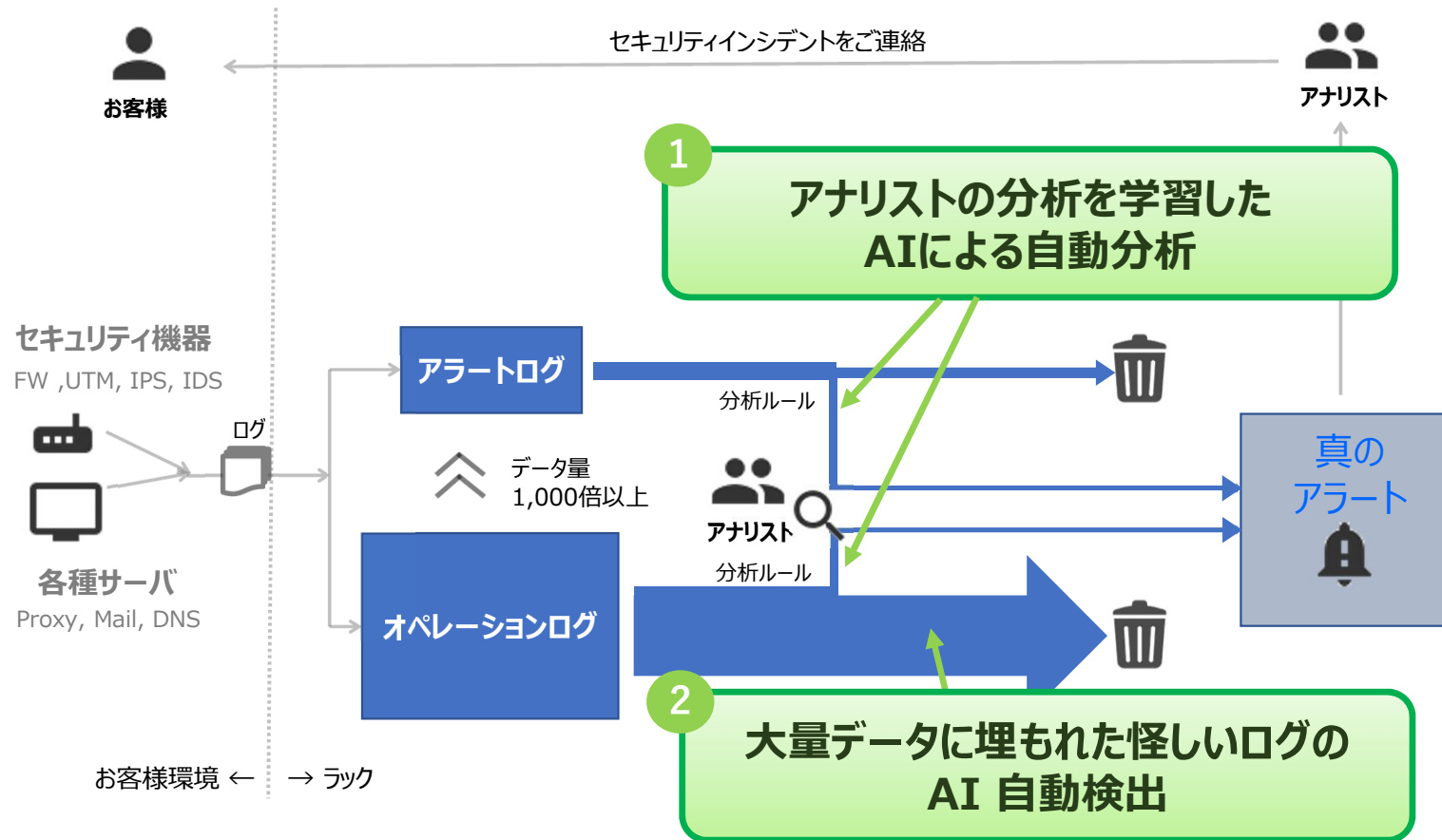
ボットネット (DDoS攻撃用の乗っ取り)

外部との通信ログに痕跡が残る

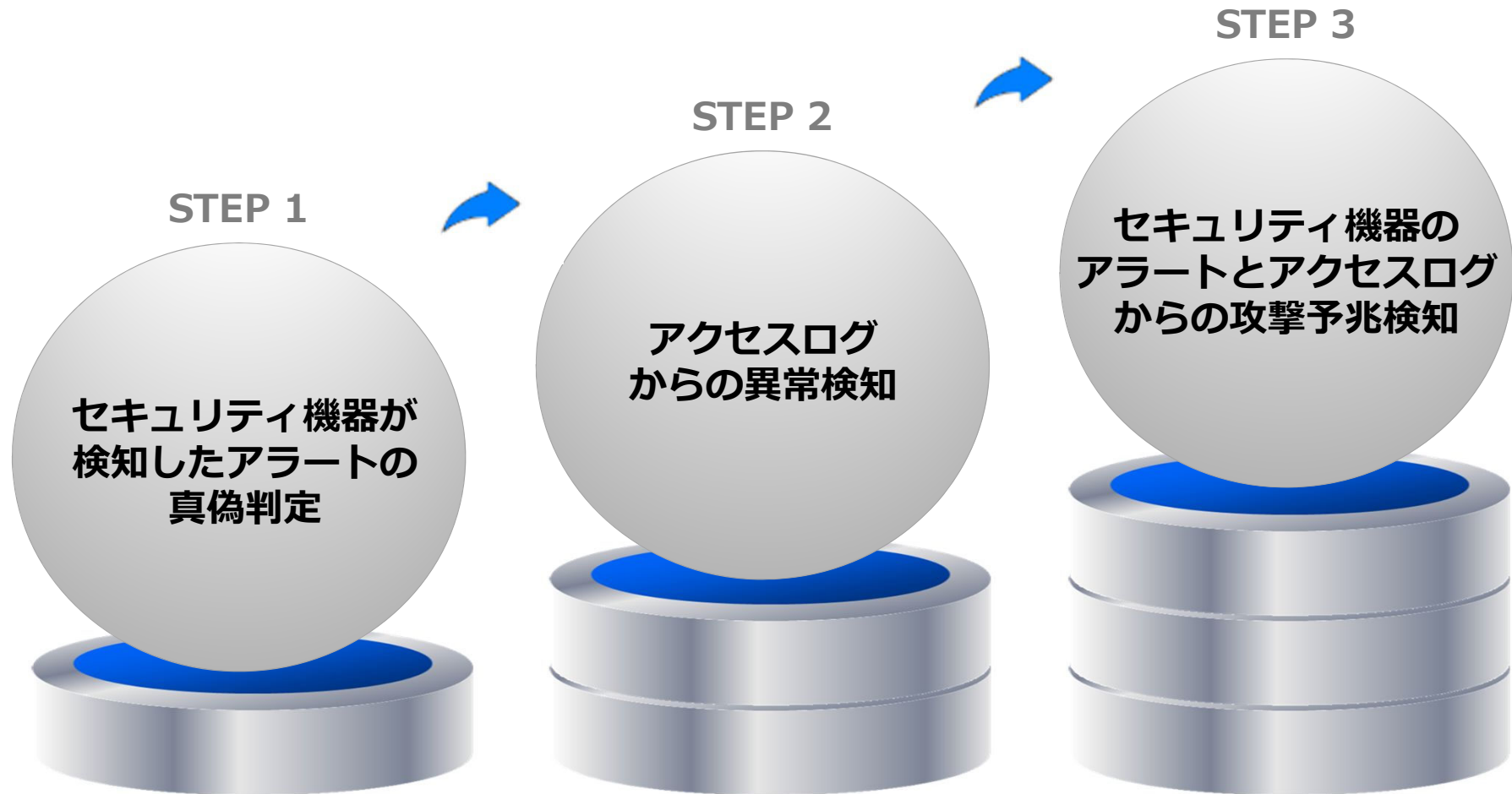
# 脅威データの分析



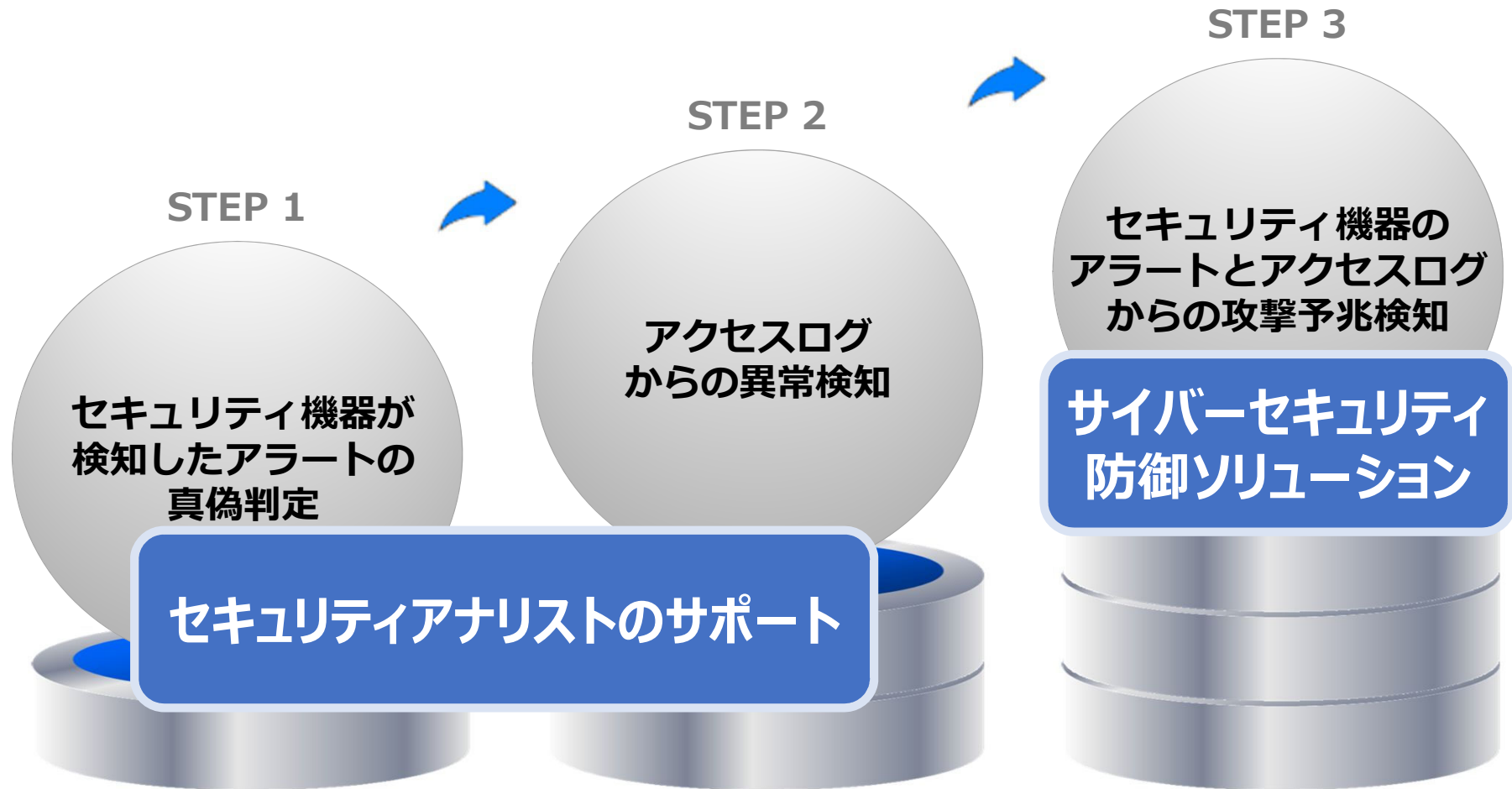
# AIによる脅威の検知



# 共同研究の狙い



# 本共同研究の成果イメージ



# まとめ

**九州工業大学**  
知的思考に関する深い知見

×

**株式会社ラック**  
サイバーセキュリティのパイオニア  
としての知見と膨大なデータ

**次世代データ分析手法の実現**



**デジタルサービスを安心して使える  
社会の発展に貢献**